

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

令和3年度も残り僅かとなりましたが、今年度も新型コロナウイルスが猛威を振るい、皆様の生活にも多大な影響を及ぼした事と存じますが、未だ収束には至っておらず、引き続きの感染防止策の徹底を私からも切にお願い申し上げます。

さて、この様な状況の中、愛知県議会は今月24日までの会期で2月定例会が開かれており、新型コロナウイルスの感染拡大等に伴う補正予算、更には来年度当初予算や愛知県人権尊重の社会づくり条例などが上程され、慎重審議の結果、全ての議案が可決される見通しであります。

その中でも特に来年度予算については、今年度に引き続き厳しい財政状況ではありますが、感染症の克服はもとより、イノベーションを創出する好循環を生み出す日本の成長エンジンとして、将来にわたって我が国の発展を力強くリードし続けられるよう、さらに愛知を発展させていかなければならないとの知事の想いのもと、感染症の克服をはじめ「15の柱」を重点に編成されており、予算に基づく施策が確実に実行されるよう、今後も注視してまいります。

また、今回の2月議会本会議において、一般質問を行う機会を得ましたので、「消費者行政の推進」と「中小企業振興基本条例10周年を契機とした中小企業支援策の充実」の2テーマについて質問し、中小企業支援については、条例に基づく資金供給の円滑化等の必要性を訴えさせていただきました。

質問に対し知事からは、中小企業を巡る経営環境は、世界的な感染症拡大や脱炭素化への対応など目まぐるしく変化しており、引き続きスピード感を持って支援していくとの答弁もありましたが、今後も本県経済と雇用を支える中小企業の皆様の支援の充実を県に働きかけてまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 